

〈出力ユニット仕様比較表〉

仕様		MELSEC-Aシリーズ		MELSEC-Qシリーズ
		AY81 (ソースタイプ)	AY81EP (ソースタイプ)	QY81P (ソースタイプ)
出力点数		32点	32点	32点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		DC12/24V	DC12/24V	DC12-24V
最大負荷電流		0.5A/1点、4A/1コモン	0.8A/1点、0.4A/1点 (60%ON、55℃)	0.1A/1点、2A/1コモン
最大突入電流		4A 10ms以下	制限なし(短絡プロテクト)	0.7A 10ms以下
OFF時漏洩電流		0.1mA以下	1mA以下	0.1mA以下
ON時最大電圧降下		DC1.5V(MAX)0.5A	1.1V(TYP)0.8A、 1.5V(MAX)0.8A	DC0.1V(TYP)0.1A、 DC0.2V(MAX)0.1A
応答 時間	OFF→ON	2ms以下	0.5ms以下	1ms以下
	ON→OFF	2ms以下(抵抗負荷)	1.5ms以下	1ms以下 (定格負荷、抵抗負荷)
内部消費電流		230mA(TYP.全点ON)	230mA(TYP.全点ON)	95mA(TYP.全点ON)
サージキラー		バリスタ(52~62V)	サージ吸収用ダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ		無	無(保護機能有り (サーマルプロテクト、 短絡プロテクト))	無(保護機能有り (サーマルプロテクト、 短絡保護))
コモン方式		16点1コモン	16点1コモン	32点1コモン
外部接続方式		38点端子台	38点端子台	37ピンD-Subコネクタ

(注) 1. 1コモンあたりの点数が、16点/1コモン(2回路)→32点/1コモン(1回路)となるため、MELSEC-Aシリーズ側の端子番号TB17、TB35およびTB18、TB36を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。

尚、ERNT-AQTY51(1-14ページ、三菱電機(株)製Qラージベースには使用できません。)を使用してQY80 2台に置換えしていただければ、配線の変更は不要です。

2. 出力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる出力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

尚、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様の制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

3. は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。